

令和元年度第8回福祉作品コンクール小学校高学年の部 金賞受賞

『ありがとう その一言が うれしいな』

尾鷲小学校5学年 山邊 夏姫さん



矢浜小学校の児童会さんより、運動会で呼びかけた
寄付金を、尾鷲市共同募金委員会に
寄付していただきました。



おわせ 社協だより

3月号
No.160号
令和3年3月1日発行

編集・発行



社会福祉法人 尾鷲市社会福祉協議会

栄町5-5 TEL:22-3246
<http://www.owasewel.com>

この広報誌に関するご意見は尾鷲市社会福祉協議会 地域福祉課 総務・福祉係までお寄せ下さい。
この広報誌は、共同募金の配分金の一部を活用して作製しています。

第9回 福祉作品コンクール

尾鷲市内の小中学校から、標語とそれに込めた想いを応募していただきました。
585作品の中から選ばれた受賞作品をご紹介します。

小学校低学年の部

『「じろのなかでてをつなごうみんなかよしみんなともだち』

「こころのなかでてをつないだらどんなときもなかよくなれるとおもつたから。」

賀田小学校一年 大門冬佳さん

『ひさしぶりあえてうれしいともだちと』

「学校が休みの間、ずっと友だちと会えなくてかなしかつたです。友だちと話をしたり、あそんだりすることは、あたりまえのことじゃないと思いました。」

尾鷲小学校二年 漢田一磨さん

『ありがとうだいじょうぶ?きいてくれてにつこりえがお』

「みんながながよくしあわせになれるように。」

宮之上小学校一年 湯浅斗偉さん

小学校中学年の部

『つながりは、やさしい心の思いやり』

「人とのつながりは、やさしい心の思いやりだと思ったから。」

尾鷲小学校三年 佐野美優菜さん

『おうちじかんあらためてきづいたかぞくのきずな』

「きゅうこうちゅうで、うちにいて、わたしたちのためにはたらいてくれているお父さんやお母さんへのかんしゃの気持ちがわきました。かぞくですごすじかんがふえて、かぞくのきずなが強くなつたと思いました。」

尾鷲小学校四年 濱田侑里さん

『つながりは小さなことでできるんだ』

「あいさつなど少ししゃべるなどで人とのつながりができるくるから小さなことからはじめてみようつておもつてほしいから。あいさつや少ししゃべるといつのまにかつながりはできることをわかってほしいから。」

宮之上小学校四年 東谷咲花さん

小学校高学年の部

『みんなでね支えあえばつながるきずな』

「きずなは一人では作れないからたくさんの人人がつながつてできるものだと思ったから。」

尾鷲小学校五年 漢口紗羽さん

『人とのキヨリは変わつても心のキヨリは変わらないよ』

「コロナ感染拡大防止で人とあまり会えない中、人とのキヨリは変わつてしまふけど、心のキヨリは、人とのキヨリが離れて、心はつながっている」という想いを込めて考えました。」

宮之上小学校五年 大門月祈さん

中学校の部

『一緒にいようそういつてくれる友達がいる』

「私は人との関わりがとくいじやないんです。小さい時に私に声をかけてくれたのがうれしかったんです。なのでそれを標語にしました。」

尾鷲中学校一年 福山香花さん

『つなぎたい「思いやりのリレー」』

「道徳で人に良い事をされたら次自分が誰かに良いことをする、それによって思いやりの連鎖がおこりみんながいい気持ちになるということを学んだので、自分も「思いやりリレー」に参加し、次の人にバトンをつなぎたいと思い、つくりました。」

尾鷲中学校三年 森輝さん

あなたの周りでお困りの方はいませんか??
～日常生活自立支援事業について～

障がいや病気等により、判断能力が低下した方で…

- 自分に使える福祉サービスってあるの?
- サービスを利用してみたいけど手続きがよく分からぬ。
- 銀行での払い戻しや預け入れなどの手続きが不安。
- 公共料金等の支払いが滞りがちになってしまい、会後きちんと支払いたい。
- 重要な書類を手元に置いておくのが不安。通帳を何度も紛失してしまうので代わりに預かってほしい。



おわせ日常生活
自立支援センターへ



一度ご相談ください!!

相談窓口 おわせ日常生活自立支援センター
(福祉保健センター1階 生活支援課)

《電話》0597(23)3877

月曜日～金曜日 8時30分～17時15分
(年末年始・土日祝を除く)

きらり☆尾鷲人

事のアイデアを出し合って決めてもらっています。今回は押し花を作り、その押し花で飾りつけをした、しおりやハガキを作成して楽しみました。その他コロナの状況下で今はできませんが、カラオケ、料理教室は人気があり、落ち着いたら、やつていただきたいです。

ご家族の方から、「集まる場をなくさないでほしい」という声をいただきました。その思いを大切にしてこの活動を絶やさないように、無理をせずに続けて行きたいと思っています。

活動の見学はできますか？

ボランティアのメンバーは？

平成29年に活動を開始し約4年たちました。現在会員数は40代～70代までの10名です。参加者の保護者の方や、別の仕事をしている方も多い、予定が合う2～3人が支援に入るようになっています。



途中参加・見学もできます。『**「ウイークエンドの会」**』の活動に感心を持たれた方は、『紀北地域障がい者総合相談支援センター結』までお問い合わせください。

電話 22-3170



ハッピーワーク in にゃんにゃん 王国

に出展しました



令和2年11月29日(日)に尾鷲市立中央公民館にて、子育てハッピーデイ「ハッピーワーク in にゃんにゃん王国」が開催され尾鷲市社会福祉協議会は、「介護士」体験として5名のスタッフが参加しました。さまざまな仕事が体験でき、体験後は仮想のお金がもらえる為、景品と交換したり、貯金したりと、子どもたちに働く楽しさを学んでもらえるイベントでした。

なつてもらい、車椅子を押す介護士役と車椅子に乗る利用者役に分かれ、公民館の外で実際に車椅子介助を行なつてもらいました。

車椅子に乗つていると、ちょっととした傾斜や道路のデコボコが感じやすく、介助の際は利用者役の子が安心できるように、やさしく声かけしながら、ゆっくり車椅子を押す大きさを学んでもらいました。途中、車椅子に乗つたまま車の乗り降りができるリフト付きの福祉車両で、リフトの操作方法や昇降体験をしてもらいました。リフトは思つていて以上に高さがある為、恐怖感を感じてもらうと同時に、介護士役の子は、そばでやさしく声をかけたり手を添えたりして、利用者役の子に安心してもらえるように配慮したりして、利用者役の子に安心してもらえるように配慮する大切さを学んでもらいました。なお社協ブースの体验者は50名でした。

じんなことじてらるの？

年間スケジュールを組み約10回ほど活動しています。内容は、参加者の方達でした

新型コロナウイルス感染予防対策について

～相談編～

○職員のマスク装着と相談前後の手指消毒

相談者の皆様にも検温とマスク装着・手指消毒をお願いします。

○3密（密閉・密集・密接）、長時間の面談を避ける

直接お越しの前に、まず、お電話でのご相談をお願いします。

○場合によって、訪問活動や同行支援の自粛等の臨機応変な対応

お電話での相談は可能ですので、お気軽にご相談ください。

△社協全般や、福祉のまちづくりにすること	○お困りのことがありましたら、ご相談下さい。
△高齢者の福祉に関すること	△生活の困窮に関すること
△障がい児者の福祉に関すること	△総務・福祉係
△障がい者総合相談支援センター	△生活支援係
(22) 3170	(37) 4151
3003	3246

寄付・募金へのご協力ありがとうございました



この1年間、市民の皆様からは、多くのあたたかいご支援・ご寄付をいただきありがとうございました。集まった寄付金は福祉のまちづくりに役立てさせていただきます。

赤い羽根共同募金

赤い羽根の共同募金は、三重県共同募金会が実施する募金活動です。集まった寄付金は「自分の地域をよくするしくみ」として来年度尾鷲市内の団体にも配分され、子育て世代の地域交流や、高齢者の見守り・サロン活動、福祉教育等、尾鷲市内の様々な福祉活動に活用されます。

尾鷲市目標額 2,607,100円
(昨年度より 10,900円の増)

募金額 2,336,056円
(昨年度より 296,186円の減)

達成率 89.6%
(昨年度より 11.79%の減)

善意銀行

これまで、個人や団体など様々な方から、金銭や物品を寄付していただいているご寄付は地域福祉のために活用させていただきます。

令和2年2月1日から令和3年1月31日までの一年間にご寄付いただいた方です。（順不同）

辯天宗 尾鷲教区 様	20,000円
みのり自治会様	38,689円
中森美須子 様	300,000円
宮ノ上・座ノ下地区福祉委員会 様	200,000円
松阪・東紀州ゴルフ協会 様	50,000円
神保雅一 様	100,000円
匿名2件	24,000円
合 計	732,689円

【物品寄附】 一般社団法人 尾鷲法人会 様
フェイスシールド・セイフティグラス

日本赤十字社会費（日赤募金）

日本赤十字社のあらゆる活動（献血、災害救護、国際的な救護活動、ドクターヘリ運営等）に役立てられます。尾鷲市でも、救急法講習会の実施や、日赤奉仕団の炊き出し訓練など、日赤の活動が行われています。

尾鷲市目標額 2,629,000円
(昨年度より 62,000円の減)

募金額 1,585,170円
(昨年度より 662,563円の減)

達成率 60.2%
(昨年度より 23.3%の減)

災害義援金

災害で被災した自治体を通じて、全額が被災者へと届けられるお金です。主に日本赤十字社を通じて被災地に送ります。 令和2年2月1日から令和3年1月31日までの一年間

・令和2年7月豪雨（九州）	157,747円
・令和元年台風第19号災害（千曲川氾濫広範囲）	6,314円
	※533,907円
・令和元年8月豪雨災害（佐賀）	550円
	※657円
・平成30年7月豪雨災害（西日本）	30,866円
	※1,619,453円
・平成29年7月5日からの大雨災害（九州）	871円
	※20,986円
・平成28年熊本地震災害	2,301円
	※5,040,892円
・東日本大震災義援金	1,950円
	※51,529,741円

※印は、令和3年1月末現在の合計金額です。